

# しらさぎ・無所属クラブ



平塚市下水道管の老朽化と  
道路陥没について  
はた 文昭 議員

**問** 市内の下水道管の総延長と、県あるいは本市が管理する口径2千ミリメートル以上の下水道管の総延長は、それぞれどのくらいあるのか伺う。  
**土木部長** 市内下水道管の総延長は約1235キロメートルあり、口径2千ミリメートル以上の総延長は約12・5キロメートルある。内訳は県が約7・3キ

ロメートル、本市が約5・2キロメートルである。  
**問** 市内道路の過去5年間の空洞や陥没件数を伺う。  
**土木部長** 令和2年度以降は、空洞の発見が42件、陥没が117件あった。  
**問** 長寿命化や耐震化に向けた点検などを伺う。  
**土木部長** 長寿命化に向けて、マンホール内に専用のカメラを挿入し、管内の状

況を確認する。劣化が確認された管ではさらに自走するテレビカメラ車を入れ、クラックなどの状況を確認する。耐震化に向けては、管のずれや液状化の発生などの判定を行っており、緊急輸送道路及び救急病院や避難所などの防災拠点施設につながる管路から計画的に行っている。  
**問** 本市ではレーダーを照射する専用車両を所有しているのか伺う。  
**土木部長** 本市は所有していないため、専門業者に委

託して調査している。  
**中央公民館の休館**  
**問** 利用団体への説明会の内容を伺う。  
**社会教育部長** 説明会では休館の経緯や代替施設などの説明と質疑応答を行う。説明会後も個別相談を受けするなど、丁寧に対応している。  
**問** 休館期間中の代替施設について伺う。  
**社会教育部長** 会議室などの利用団体については、団体登録要件を緩和した地区公民館を、大ホールについては、市内外の類似施設を利用してもらいたいと考えている。令和10年度以降に

ついては、7年度から庁内組織を立ち上げ、必要な機能やコストのほか、施設の規模や場所などの課題を整理し、検討を進めていく。  
**民生委員・児童委員**  
**問** 民生委員・児童委員の定数や選任方法、任期などを伺う。  
**福祉部長** 定数は県の民生委員定数条例で定めており、本市の定数は408人、2月1日現在の選任者数は396人である。選任の際は、地域から選出された候補者を平塚市民生委員推薦会から県とおして国に推薦し、厚生労働大臣が委嘱する。任期は3年で、

しらさぎ・無所属クラブ  
所属議員  
渡部 りょう 議員  
元島 しん 議員

# 日本共産党平塚市議会議員団



令和7年度は事業者・市民に  
あったかい施策最優先で  
高山 和義 議員

**7年度施政方針から**  
**問** 市内事業者の賃金は上がっているのか伺う。  
**産業振興部長** 本市は補助制度で事業者を応援しているが、実態を表しているのかという少し違うと思う。  
**問** 定額減税がなくなったことで、令和7年度は個人市民税が伸びているが、本市の6年度の定額減税の影響はどの程度だったのか伺う。  
**総務部長** 定額減税減収分は約11億3千万円である。

**子どもを育む環境づくり**  
**問** ネット上など目に見えないいじめが増えていると考えるが、見解を伺う。  
**学校教育部長** ウェブ上でいじめは増えている。はじめの把握や解決には、複数の目で子どもたちを見るのが大切である。サン・サンスタッフの複数配置について見解を伺う。  
**学校教育部長** 各学校で必要な場所・場面などを見極めて重点配置している。

**活気あふれる産業づくり**  
**問** 正規雇用を増やすための本市の対策を伺う。  
**産業振興部長** 新たにウェブ求人サポートセミナーを開催し、そこに28社の応募

があった。  
**問** 賃上げ応援奨励金の目標を伺う。  
**産業振興部長** 賃上げ機運を高めることである。  
**高齢者の想いに寄り添う環境づくり**  
**問** 地域交通手段確保の現状と今後の対策を伺う。  
**福祉部長** 岡崎地区で実施したアンケート調査から、地域の移動ニーズを把握し、持続可能な交通の検討をしている。今後はこの取り組みを先行事例として示しながら地域交通手段の確保に取り組んでいきたい。  
**問** 補聴器購入の補助制度導入の検討状況を伺う。  
**福祉部長** 県の市長会を通じて全国統一的な支援基準の策定を国に要望するとともに、他の自治体などの実

施設状況を確認しながら研究をしていく。  
**問** 終活支援専用窓口の設置について考えを伺う。  
**福祉部長** 行政が担うべき役割や支援の範囲など課題を整理して、相談体制の在り方を検討していきたい。  
**安心・安全で快適なまちづくり**  
**問** 平塚駅へのホームドア設置予定を伺う。  
**防災・危機管理監** 現在、鉄道会社と協議をしており、令和7年度中に着工予

日本共産党平塚市議会議員団  
所属議員  
松本 敏子 議員

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

### 総務経済

議案12案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

#### ○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

**問** 一般管理費の平和意識普及・啓発事業について、今年は戦後80年と、核兵器廃絶平和都市宣言から40年という節目になるため、1年を通して平和行事を行うとあるが、予定している行事を伺う。  
**答** 7月の平塚空襲の頃に、命のビザを発給した杉原千畝氏の孫で

ある杉原まどか氏の講演会、8月頃に平和パネル17枚と複製画13枚を展示するいわさきちひろ氏の平和パネル展、12月の核兵器廃絶平和都市宣言の頃は、高校生が描いた原爆の絵のパネル展示を開催する予定である。また、広報ひらつかでも特集を組むなどして、1年を通してさまざまな周年事業を行っていきたく考えている。  
**問** 防災対策費の防災訓練強化事業について、有事が起きるのは昼間だけとは限らず、夜間や寒期中、暑い中などさまざまである。

行政は、各自自主防災組織にいろいろな状況を想定した各種防災訓練を行うよう伝えるべきだと思うが、見解を伺う。

**答** 夜間など、さまざまな状況が想定されるため、訓練の相談の際には伝える場合もある。以前、夜間のパトロールに絡めて、実際に夜間の地震体験などを行ったことがある。

**問** 農業振興費の新規就農者育成事業について、新規就農者がかなり減っており、手を挙げる人も少ないと思う。本市は大切な米どこ

ろであるため、ぜひ多くの人に担い手になってもらいたい。また、新規就農者支援してもらいたいが、これまでと同じ方法なのか、新しい策を広げていくのか伺う。  
**答** ワンストップ相談窓口では、新規就農者の相談件数も少しずつ増えている。その中で、ロードマップの作成や、新規就農者が自らヒアリングを行いながら活用した補助制度や支援制度をメモしてもらいガイドブックを令和7年度から作成し、支援につなげたいと考えている。